

ALCARE

つながりあて、ひらくケア。

セルケア[®]2

Cellcare 2

ツープースオストミーシステム
2-Piece Ostomy System

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)
www.alcare.jp

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分の面板が独立した二品系(ツープース)器具です。面板はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従ってご使用ください。なお、商品についてご不明な点は、お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたいうえ、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。誤った取り扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

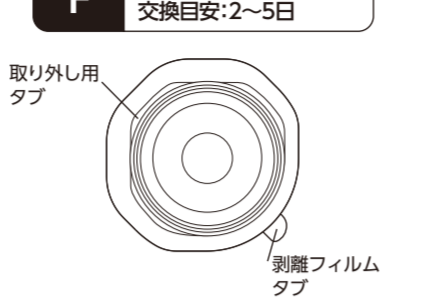
注意

- ストーマ周囲には軟膏など、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜剤もその特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください。)
- 剥離フィルムを剥がした面板の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- 一度剥がした面板をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。

セルケア2の種類と各部の名称

●面板

F 平面タイプ
交換目安:2~5日

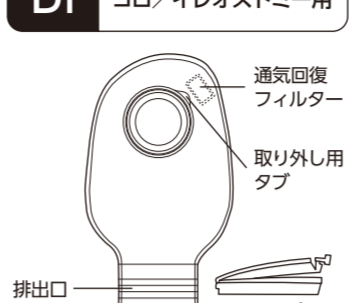


Fc 凸面タイプ
交換目安:2~5日



●ストーマ袋

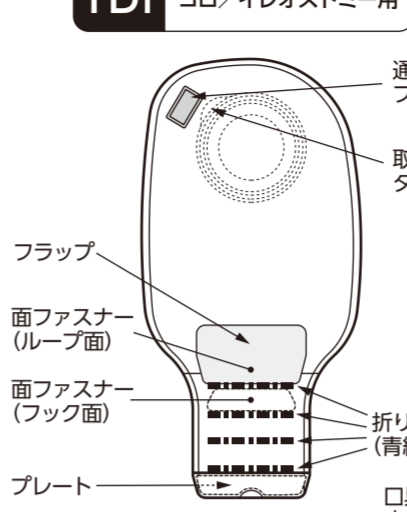
Df コロ/イレオストミー用



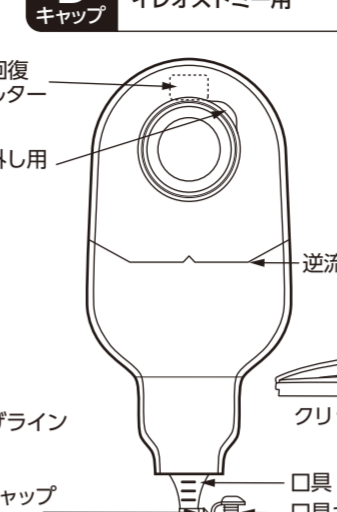
Cf コロストミー用



Tdf コロ/イレオストミー用

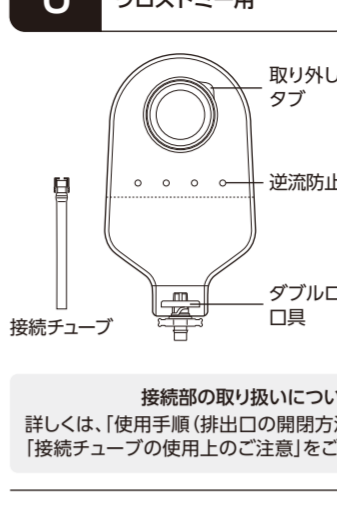


D キャップ イレオストミー用



Tdfをお使いのお客様へ
●面ファスナーのループ面:フック面に潤滑油や水が付着した状態を使用すると、接着力が弱まり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

U ウロストミー用



接続チューブの取り扱いについて
詳しくは、「使用手順(排出口の開閉方法)<Uの場合>」[接続チューブの使用上のご注意]をご確認ください。

●入浴用具

BC 入浴用キャップ



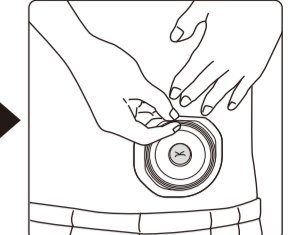
入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

準備

① 必要物品を用意します



② 面板を剥がします



皮膚を傷つけないように片手でお腹の面板近くを押さえながら、上から下へゆっくり、やさしく剥がします。
●面板が皮膚に密着して剥がれない時は、測測剤を使いながら剥がすとよいでしょう。

使用上のご注意
入浴後の交換は、お避けください。前後の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がしにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たてた面板の温度が下がったのを確認の上、行ってください。

- ご使用の面板とストーマ袋
- ストーマメジャーまたはカッティングゲージ
- 石鹸
- ガーゼ
- ティッシュペーパー
- ゴミ袋
- ぬるま湯
- ハサミ
- フリーカットの場合
- 細い油性ペン(フリーカットの場合)

準備

③ ストーマ周囲を清拭します



器具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュペーパーなどで拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯を染み込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面板が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに接触を与えますので、使用は避けます。

【ウロストミーの方の場合】

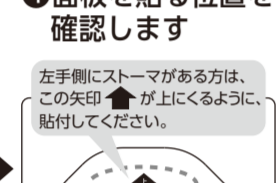


清拭の間にも尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面板が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに接触を与えますので、使用は避けます。

④ 面板を貼る位置を確認します



左手側にストーマがある方は、この矢印 ↑ が上にくるように貼ってください。

右手側にストーマがある方は、この矢印 ↓ が上にくるように貼ってください。

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。

使用手順(面板の貼り方)

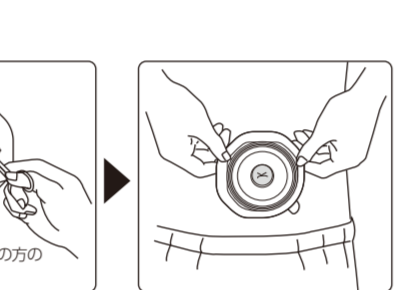
●フリーカットをご使用の方は①から、プレカットをご使用の方は④からお読みください。



① ストーマの大きさを測ります

ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてついています。

●ストーマの大きさは変動することがあります。1ヶ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。



② 面板に穴を開けます

穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面板の剥離フィルム側に重ね合わせ、面板に穴の大きさを書き写します。その線よりも1~2mm程度大きく面板を切り取ります。

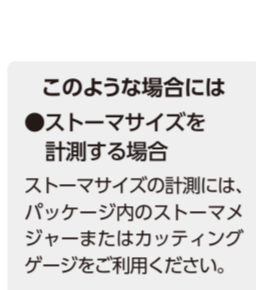
●この際、ストーマを傷つけないように面板の切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。



③ 穴の大きさを確認します

剥離フィルムを剥がす前に面板をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

●この際、ストーマを傷つけないように面板の切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。



④ 剥離フィルムを剥がします

タブを持って面板の剥離フィルムを剥がします。

●この場合、ストーマを傷つけないように面板の切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。



⑤ 面板を貼り、よく押さえます

面板のシワを伸ばすようにして、面板を貼ります。面板を貼ったら、皮膚にきちんと付くように、ストーマ周囲から外側に向けて、手で押さえながら十分に密着させます。

●面板を貼付する時は、皮膚を伸ばしすぎないようにしてください。



⑥ キャップを付けます

操作つまみを180°(上から見ると左回り方向)回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを引っ張り出すことで、接続チューブの先端が口具の開口部から出てきます。



⑦ 接続チューブの付け方

接続チューブのツメ部分を指でつまみ、ツメのロックを外してから(イラスト①)、ゆっくり接続チューブを引っ張り出します。



⑧ 接続チューブの接続状態について

●差し込みが確実にない場合、接続チューブが外れる原因となります。

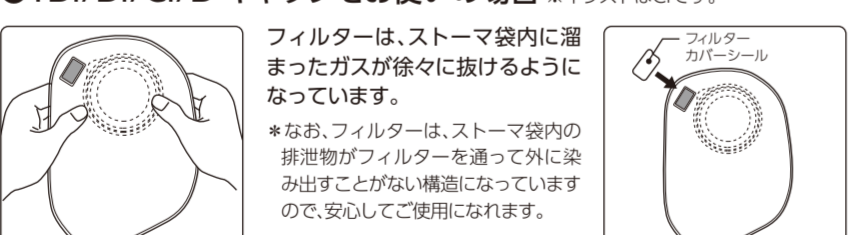


⑨ 接続チューブの接続状態について

●差し込みが確実にない場合、接続チューブが外れる原因となります。

通気回復フィルターについてのご注意

●Tdf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合 ※イラストはCfです。



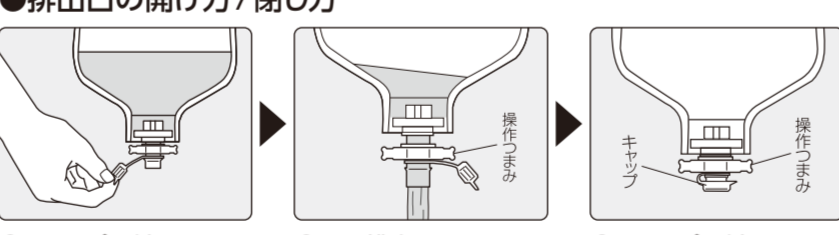
以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。

- ガスが抜けず、真空状態になり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に付着してしまうことがあります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいで、ストーマ袋内にガスが溜まるようにしてください。ストーマ袋内にガスが溜まったからシールを剥がし、手で軽くストーマ袋を押して出してください。
- 入浴時 入浴時に外側から水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣服を汚してしまう原因となります。
- ストーマ袋を装着して入浴した場合には、入浴後、乾いたタオルなどでストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。

このような場合には
●ご使用中に「ガスがスムーズに抜けず」と感じたら
- フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするように拭き、取り除いてください。
- フィルターを裏側と裏側から指でつまんで、2~3回回転してください。

使用手順(排出口の開閉方法) <Uの場合>

●排出口の開け方/閉じ方



① キャップを外します 二重ロックされている上から見て左回り方向に回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを引っ張り出すことで、接続チューブの先端が口具の開口部から出てきます。

② 尿を排出します 操作つまみを180°(上から見ると右回り方向)回転させます。この時、尿の排出が行われます。

③ キャップを付けます 操作つまみを180°(上から見ると左回り方向)回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを引っ張り出すことで、接続チューブの先端が口具の開口部から出てきます。

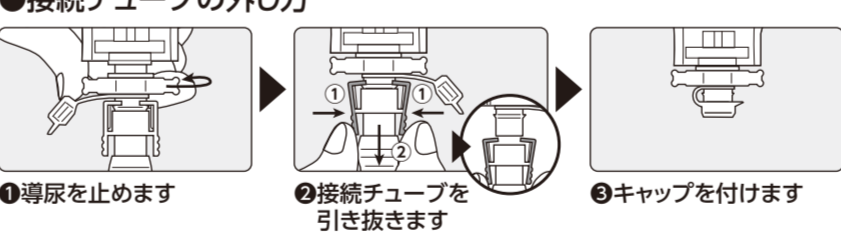
●接続チューブの付け方(夜間など他の医療バッグが必要な時にお使いください)



① コネクターを差し込みます 付属の接続チューブに、ご使用中に蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。
② 接続チューブを回転させます 次に、コネクターのみを外したクリナリーパウチに、接続チューブを「カチン」と音がするまで強く差し込みます。この際、接続チューブのツメ部分が口具の部分がしっかりと掛かっていることを確認します。

接続チューブの使用上のご注意

●接続チューブの外し方



① 導尿を止めます 操作つまみを180°(上から見ると左回り方向)回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを引っ張り出すことで、接続チューブの先端が口具の開口部から出てきます。

② 接続チューブを引き抜きます 接続チューブのツメ部分を指でつまみ、ツメのロックを外してから(イラスト①)、ゆっくり接続チューブを引っ張り出します。

③ キャップを付けます クリナリーパウチの排出口にキャップをとりつけます。

●接続チューブの接続状態について

●「操作つまみ」の適切な状態の確認方法
*回転が不十分な場合や可動域を超えて回転させた場合、排出口の外れや「壊れ」の原因となります。



使用手順(排出口の開閉方法) <Dfの場合>

●Dfの排出口の開け方



① クリップを開きます 図のようにストッパーを押しながら引き上げて、クリップを開きます。

② ストーマ袋を巻きつけます 引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一重に巻きつけます。
*クリップのカーブが体に合うように向けてください。

③ クリップを閉じます ストッパーを押しながらクリップを閉じます。
*最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

●Dfの排出口の開け方/排出方法



① クリップを外します しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き上げてクリップを外します。

② 便を排出します ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモシの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向けて、ストーマ袋内の便を排出します。

③ ストーマ袋の先端をクリップで止めます 便の排出が済んだら、排出口部分をストッパーペーパーなどで拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

●ストーマ袋の折り返しやすさを高めるには、排出口のベルボトム形状になっています。

使用手順(排出口の開閉方法) <TDfの場合>

●TDfの排出口の開け方



① 末端を折ります 末端のプレートを手前に4回折り上げます。
*折り上げにゆるみや原因があると、便や臭いモシの原因となります。

② 面ファスナーのフック面が表になります 折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出ます。

③ フック面にループ面を重ねます フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押し付けて面ファスナーを止めます。

●TDfの排出口の開け方/排出方法



① フラップ部分を剥がします 片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がします。

② 折り上げた部分を開きます 排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートから排出口を開いた状態で保持され、排出が完了した状態になります。

③ 便を排出します ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出します。
*排出口付近に便が残っていると、便や臭いモシが発生することがありますので、排出口付近をしっかりと拭き取ってから開けてください。

●V字にしっかりと折って、フタを閉じます。

使用手順(排出口の開閉方法) <D キャップの場合>

●D キャップの排出方法/排出口の開け方

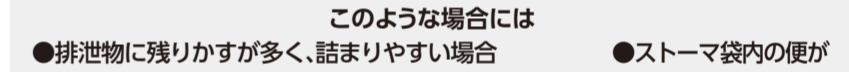


① キャップを外します 排出口を上に向け、便が出てこないよう注意しながらキャップを外します。

② 便を排出します キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向けて便を排出します。
*排出口に残りが多い場合には、口具部分を指先で押して、便をしっかりと出してください。

③ キャップを閉じます 排出が終わりましたら、排出口部分をイレイトペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

●この場合には



●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合 逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしっかりと折って、フタを閉じます。

●下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

ALCARE
アルケア株式会社
東京都墨田区藤原1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.jp